

「未来につなぐ公共施設を考える」 ワークショップだより

弥富市の未来につなぐ公共施設を考える ワークショップが最終回を迎えました！

弥富市公共施設再配置計画の策定に向けて、市民の皆さまが真に求める行政サービスを把握するとともに、今後の公共施設のあり方について意見をいただくことを目的に、第3回ワークショップを開催しました（全3回）。

最終回では、20名の方が参加され、ファシリテーターの名古屋大学大学院の恒川准教授と研究室の学生さんと共に、前回の振り返りやグループワークを行いました。今回は、第2回で決めたテーマを掘り下げ、そのテーマとなることを実施するメリットや課題、留意点などについて意見をまとめ、市への提言として発表を行いました。



平成31年3月2日（土）
総合社会教育センター 第2会議室
13:30~16:30

第2回ワークショップの振り返り

恒川准教授から、第2回ワークショップの振り返りがありました。第2回では、各グループ、テーマを一つに絞り、関係する施設や場所について分析しながら、その課題や解決策について検討しました。第3回では、テーマを具体的に掘り下げ、そのテーマとなることを実施するメリットや課題、留意点などについて、学区別の施設整備状況や施設運営費等の資料を参考にしながら検討することにしました。

他自治体における公共施設再配置・再編の事例

恒川准教授から、他自治体における公共施設再配置・再編の事例について説明がありました。地域単位で施設再編プロジェクトを実施し、地域拠点を創出した事例や、少子化により廃校となった小学校を図書館やコミュニティカフェ・体育館等の複合施設として改築した事例、公立保育所を民間へ移管し、幼保連携型の認定こども園とした事例などが紹介されました。



グループワークの様子 ~各テーマにおける再配置方針の提言~

第2回で決めたテーマを具体的に掘り下げ、そのテーマとなることを実施するメリットや課題、留意点などについて話し合いました。また、公共施設の規模を縮減しながらも、サービスを充実させるためにはどうすべきなのかを考え、意見をまとめた結果を市への提言として発表しました。



「社会福祉法人で解決~子どもも高齢者も安心して赤字解決~」

グループ

- ①弥富市は財政難であり、毎年2億円の赤字が発生している。
- ②維持コストの高い保育所に注目。
- ③立地・施設データから南部保育所の廃止・桜保育所の民間移管（こども園化）
→民間施設を増やすことにより、通所先の選択肢が増えるとともに、市外から人が来ることで市の活性化につながる。
- ④南部保育所跡地を老人ホームにする。
- ⑤社会福祉法人で保育所・老人ホームを経営する。



「栄南オシャレ化計画」

グループ

- ・南部コミュニティセンターを中心とした施設や機能の集約化を行う。
- ・栄南保育所は栄南児童館へ移転、栄南児童館は栄南小学校に複合化する。複合化した小学校は一般市民が給食を食べるイベントなどを開催し、地域の人も利用可能な施設とする。
- ・のびのび園は、南部コミュニティセンターに複合化する。複合化後は、マルシェやフェスなどを開催し、市内外から人を集める。



C

グループ

「コミュニティ単位の見直し及び統合のステップアッププラン」 ～モデル事業としての十四山地区の拠点総合計画～

- ①三ツ又池周辺に教育ゾーンの創出
 - ・新たな拠点として、保育所、小・中学校を集約した一貫校をつくる。
- ②施設開放
 - ・福祉センターの利用転換を行い、カフェやマルシェを設置し、一般開放する。
- ③バスのハブ化
 - ・市の拠点間をバス（有料）でつなぎ、交通ネットワークを強化する。
- ④移設後の各施設の利用方法
 - ・十四山支所を消防拠点化し、商工会を設置する。
 - ・十四山スポーツセンターのアリーナを活用し、様々なイベントを開催する。



安藤市長の講評



全3回の熱い熱いワークショップ、本当にお疲れ様でした。全体を通じて、とてもいい意見をいただくことができました。その地域を一番よく知る人たちがまちを作っていけば、より良いまちになっていくと思います。市民の皆様や職員、議員の皆様と対話をして、良いまちづくりを行っていききたいと思います。

恒川准教授の講評



今回のグループ発表を聞いて感動しました。公共施設を縮減することは後ろ向きな事に捉えられがちですが、皆さんの発表を聞いてみると、前向きな意見が多く、非常に明るい未来が見えてきそうな気がします。ワークショップを通じて、公共施設の再配置に関するより具体的な提案をいただきましたので、市の方でぜひ計画に反映してほしいと思います。

記念撮影



ワークショップの結果は、3月25日（月）に提言集として市長に提出される予定です。

D

グループ

「コンパクトシティのコア（北側）をつくる!!!」

- ①破壊

産業会館、農村多目的センター、歴史民俗資料館、市民プールを中心に、不要な施設はなくす。
- ②収束

歴史民俗資料館の機能と観光協会・観光課を図書館棟に集約し、効率的に弥富の魅力を発信する。
- ③創造

北側の人が集まる拠点とするために、産業会館（商工会）の機能を図書館棟に複合化し、「弥富を知るセンター」として、PFIによって運営を行う。



未来につなぐ公共施設を考える ワークショップ



<「未来につなぐ公共施設を考える」ワークショップだより 第3号> 平成31年3月発行

【お問い合わせ・連絡先】

弥富市 総務部 秘書企画課 TEL：0567-65-1111 FAX：0567-52-3276